

## 築理会をきっかけに仲間の輪を広げる

5月23日(土)に平成21年度の築理会総会・懇親会が開催される。今年度のテーマは「築理会をきっかけに、仲間の輪を広げ母校の発展に寄与しよう」となった。なぜ、このテーマになったのか? 最近の築理会の動きと合わせて簡単に紹介しよう。

会報の7ページで紹介するように、今年は1月20日に神楽坂の理窓会館で第一回の築理会新年会が開催された。慌しい案内だったにもかかわらず、I部、II部を合わせて70人を超える同窓が参加する大盛況だった。また、2月27日には、築理会が毎年、卒業設計の優秀者に贈る「築理会賞」が新たな一歩を踏み出した。2ページから4ページの特集で詳細にルポしているが、学生たちを前にした公開審査で、理科大建築学科OBの審査員が議論を交わし、「築理会賞」を選び上げた。築理会賞が決定するまで

の臨場感を特集記事で味わっていただきたい。

これを補足する学内の動きとして、建築学科助教の栢木まどかさんに「最近の設計製図科目の新しい試み」として、学内の様子を報告してもらった(4ページからの記事参照)。社会構造の変化や建築士法の改正に対応して、母校が大きく変わろうとしているリアルな空気が伝わるのではないかな。

これら数々の築理会の活動を支える「運営安定化委員会」の活動についての報告も掲載した。同委員会の委員長である乙丸勝範さんは「ズバリ資金集めの算段をする委員会なのです」と一言。目前に迫った総会・懇親会のテーマは、こういった流れと歩調を合わせ、さらに盛り上げようという決意表明と位置付けられるだろう。

(築理会報編集委員会)



左から大盛況だった1月20日の新年会の様子、学生たちが見守るなかで行われた築理会賞決定の瞬間、2年生から4年生までが参加した合同講評会の模様

## 平成21年度築理会総会・懇親会のご案内

工学部建築学科卒OBの皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて今年度は風薫る5月に平成21年度の築理会総会・懇親会を開催することとなりました。

本年度は「築理会をきっかけに、仲間の輪を広げ母校の発展に寄与しよう」をテーマに下記要領にて開催いたします。

昨年同様是非多数の皆様にご参加いただき、旧交を温めていただきたくご案内申し上げます。

### 記

1. 日時 平成21年5月23日(土)  
総会 ; 午後3:00~午後3:15  
講演会 ; 午後3:20~午後4:00  
懇親会 ; 午後4:00~午後6:30  
築理会会費納入の有無にかかわらず  
どなたでも参加できます。
2. 会場 神楽坂校舎1号館17F会議室、講堂
3. 会費 一人¥6,000(当日)  
但し前納される方は割引料金¥5,000といたします。  
(前納期間は5月10日まで)  
(振込み先: 郵便振込「築理会」宛  
口座番号 00110-5-171952)

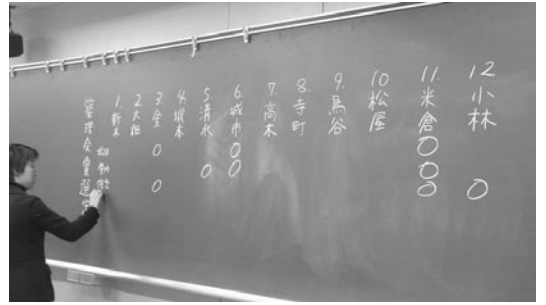
### 4. 催物概要

- ・講演会「国際社会に於ける文化遺産の保存」  
~世界遺産条約の仕事を中心に~  
筑波大学大学院総合科学科研究科 教授 稲葉信子先生(1部53年卒)
- ・東京理科大卒バンドのフォークソングライブ MASH☆LIQUOR
- ・築理会員の活動展示ブース  
「木」によるもの造りとふれあいをテーマとした活動 稲垣雅子さん  
築理会員著作による本の紹介と販売(展示ご希望の方は御連絡下さい)

### 5. 参加申込

- 出席希望の方は下記事務局宛に「氏名・卒年・連絡先」をメールまたはFAXにてご連絡ください。  
築理会事務局((株)三誠内 三輪富成)  
e-mail: miwa@sansei-inc.co.jp FAX: 03-5641-7616

# Special Report 卒業制作合評会ライブルポ 築理会賞決定の瞬間



築理会が毎年、卒業設計の優秀者に贈る「築理会賞」が新たな一步を踏み出した。

今年2月27日に行われた「平成20年度(2008年度)卒業制作合評会」。卒業制作・全41作品から専任教員の採点によって選ばれた優秀作12点の提出者が、自らの作品を発表する場だ。持ち時間は5分。発表終了後、ゲストとして招かれた本学科OBのクリティークが代わる代わる講評を述べる。全学生の発表終了後、日本建築学会や東京都などが主催する卒業制作展への出品作を担当教員が選ぶ段取りだ。

このプロセスに加わったのが、OBゲストクリティークによる築理会賞の選定。設計製図の非常勤講師4人と、昨年まで同講師だった1人の計5



人がクリティークとして参加。多くの学生が見守るなか、築理会賞の選定に向けて激論を交わした。前半の合評会には、石神

一郎・築理会長のほか、マスコミの立場として日経ホームビルダーの安達功編集長(築理会報編集長)と筆者である日経アーキテクチャの森清(同会報編集委員)も参加。後半の築理会賞選定を見守った。

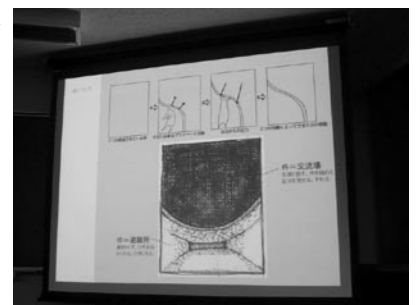
選定に当たっては、最もベテランの石橋利彦氏(石橋徳川建築設計所)が委員長として進行役を務めた。まずは5人のクリティークが、自分が推す作品を3作ずつ挙げることから始めた。松川昌平氏(000 studio)、菊地宏氏(菊地宏建築設計事務所)、佐藤勉氏(佐藤勉建築設計事務所)、上

條美枝氏(RING ARCHITECTS)、そして石橋氏の順番に3票ずつ投じていった。12作品のうち、票が入ったのは計6作品。なかでも城市滋君の「邂逅」(めぐりあいという意)と米倉夏さんの「少女たちの丘」がそれぞれ4票を獲得し、頭一つぬぎんできた。

前者は正方形のプランをスーパーストラクチャーで構成。内部の大きな空間を、幅が不規則に変化する幾筋もの壁で仕切って、銀座の裏通りのような状況をつくりだした。「スーパーストラクチャーを取り入れる必要はないが、可能性を感じさせる作品」といった見方で推薦者の評価が一致した。「伊東豊雄氏によるせんだいメディアテークの考えを奥行き方向に展開したプラン」(松川氏)との声も聞かれた。

一方、米倉さんの「少女たちの丘」は、女子学生寮についての案だ。規則的に個室を配したグリッド状のRC造の構造体がベースとなっている。特徴はそれぞれの個室の上部を波打つスラブで覆ったことだ。個室の高さが部屋ごとに変化し、上部に丘のようなスペースが生まれる。この空間を共通の場とし、気分に応じて個室と上部空間を使い分けることができる。プランに添えたパースがそのコンセプトを見事に言いえた。

米倉さんの作品に対しては、「部分の足し算にと



どまらない案。恐ろしい可能性を秘めている」(松川氏)、「学生でなければ考えつかないものを提案しえている」(上條氏)と、その可能性を評価するコメントが相次いだ。菊地氏からは「外部への出品作として考えた場合、“特攻隊”のように一か八かの可能性を持っている」という意見も出た。

そのほか、大畑典子さんの「街の中のこどもミュージアム」、「空中楼阁」と呼ぶ金尚婕さんの作品、小林啓明君の「名前のない場所へ続く道」がそれぞれ2票で続いた。中国から日本に来た金さんは故郷・上海に見られた住宅の形式、三合院を現代風にアレンジ。たて方向に積み上げて新たな集合住宅の形を提案した。他大学の土木学科から編入した小林君が考えたのは川の上に設けられた橋のような広場。「構造体が川の上のオープン



さを妨げている」(上條氏)という指摘もあったが、本人は「土木構造物のダイナミックさにこだわった」という。

票が入ったそれぞれ

の案について推した理由、さらに票が多かった案に対しては「なぜ票を投じなかったか」の説明もしてもらったうえで、2次投票に入った。最初と同じ順番で、1票ずつ入れていった結果、米倉さんに3票、金さんと城市君にそれぞれ1票が投じられた。



金さんを推した松川氏は「金さんの案の方が社会にインパクトを与えるものになる可能性が高いと読み取った」とコメント、城市君に投じた石橋氏は「一部を変更すればさらに良くなる案」と話した。米倉さんに対しては「夢を与えてくれる案として築理会賞にふさわしい作品」(佐藤氏)といった決定的な声が上がった。

「やさしい文章で難しい内容を表現するのが好ましい。こうした視点に立てば、米倉さんの作品は評価に値する」と石橋氏。松川氏も「米倉さんを選ぶのに異存なし」として、全員納得のういで、米倉さんの作品を築理会賞とすることに決定し

築理会賞選定のプロセス

●1次投票結果

	松川昌平	菊地宏	佐藤勉	上條美枝	石橋俊彦
1 観る。感じる。御する。/ 新木仁士					
2 街の中のこどもミュージアム/ 大畑典子				○	○
3 空中楼阁/ 金尚婕	○		○		
4 川崎ごころ/ 坂本徹					
5 大きな木の下で/ 清水忠昭		○			
6 邂逅/ 城市滋	○	○		○	○
7 チマチマ商店街/ 高木秀太					
8 Sequence Wall/ 寺町直峰					
9 個ネクトー分断された商店の再生ー/ 鳥谷寿子					
10 ひとつながりの風景/ 松屋龍喜					
11 少女たちの丘/ 米倉夏	○	○	○	○	
12 名前のない場所へ続く道/ 小林啓明			○		○

●2次投票結果

	松川	菊地	佐藤	上條	石橋
1	--	--	--	--	--
2					
3	○				
4	--	--	--	--	--
5					
6					○
7	--	--	--	--	--
8	--	--	--	--	--
9	--	--	--	--	--
10	--	--	--	--	--
11		○	○	○	
12					

決定



右から松川、菊地、佐藤の各氏



上條氏



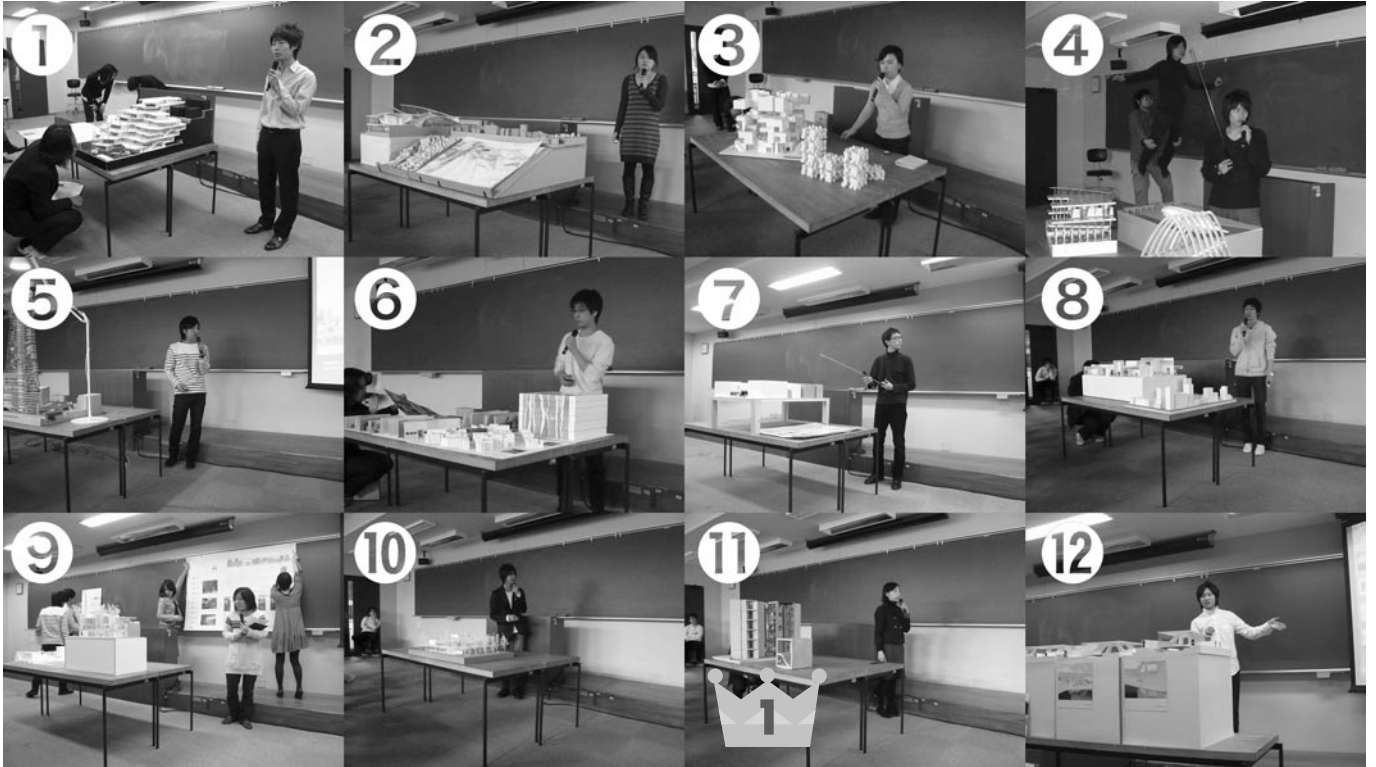
委員長を務めた石橋氏

た。

若手建築家として周囲も注目する松川氏と菊地氏。学生への指導経験も豊富な佐藤氏と上條氏、石橋氏。幅広い世代による築理会賞の選定は見ごたえ十分。これだけのOBが真剣に話し合う姿に、残念ながら涙をのんだ学生も納得してくれているだろう。米倉さんおめでとう。



● 12人の発表者 注) 番号は発表順で、前ページの表と対応



campus now

最近の設計製図科目の新しい試み

建築学科助教 栢木まどか (1部 1999年卒)

第一部建築学科では一昨年度より、社会構造の変化、また建築士法改正に対応した新しい建築教育プログラムの開発を目指しています。設計製図科目では新たな講師陣を迎え、新規の課題に取り組むとともに、合同講評会の開催など、全体を盛り上げる試みがなされてきました。今回、2008年度の設計製図科目におけるそのような試みについて、簡単にではありますが授業を担当してきました第一部門助教の立場から幾つかご紹介します。

学生にとって初めての設計製図授業となる、2年生前期「設計製図2」では、石橋利彦先生(石橋徳川建築設計所)、上條美枝先生(RING ARCHITECTS)の理科大建築学科の先輩を中心としたベテランの先生方により、日本橋人形町を敷地として「居心地のよい場所」から「暮らしをデザインする」、「日本橋人形町に住む - 現代都市住宅 -」と段階を踏んだ三つの課題に取り組みました。ひとつの敷地に継続して取り組み、課題

をレベルアップして行くことで、表面的なものに終わらず、しっかり課題と取り組む姿勢が培われたと思います。

4年生前期の「設計製図5」は、卒業制作を見据えた準備段階として、与えられた課題をこなすのではなく、自らが課題を見つけ、また設計手法の幅を広げることを目標としています。建築学科若手OBであり第一線で活躍中の菊地宏先生(菊地宏建築設計事務所)、松川昌平先生(000studio)を講師として迎え、菊地先生のスタジオでは、「Geography, Geology & Geometry」というテーマで敷地を戦略的に読み取る訓練を、松川先生のスタジオでは、プログラミングソフト processing を用いて、設計プロセスにコンピューター・プログラミングを積極的に導入する方法論を学びました。昨年度の卒業制作では、前期に行ったこの授業での設計から発展させた作品も多く見られ、大いに成果が認められたと言えるでしょう。

前期の講評会は、初めて2年生から4年生までの3学年合同で開催されましたが、大勢の学生・ゲストの

前でプレゼンテーションを行うこと、また特に上の学年の発表を見ることは、学生たちにとって大きな刺激となったようでした。プログラムを実際に動かしてみせた4年生・松川スタジオのプレゼンテーションには2・3年生の目も釘付けとなっており、設計手法の広がりを実感したと思います。



3年後期の選択科目である「設計製図4」では、宇野教授、中島助教担当のもと、山代悟先生（ビルディングランドスケープ）、日高仁先生（SLOWMEDIA）、杉木利弘先生（NTT 都市開発株式会社）、菊地宏先生を講師に迎え、「日本橋：まちの可能性をプレゼンテーションする」というテーマのもと、ビルディングタイプスタジオ（杉木+菊地）、プロトタイピングスタジオ（山代+日高）の2班に分かれ、それぞれの方法で日本橋という敷地に取り組みました。

ビルディングタイプスタジオでは、綿密なリサーチのもと、実在する建築のリノベーション設計を行いました。各グループでリサーチに基づいた課題を設定し、地域に必要と思われるプログラムを実現するための計画を立案し、図面表現としても高度な設計を完成させました。

プロトタイピングスタジオでは、「建築都市の再生」をめざした都市デザインのインスタレーションを、学生主導で計画、実行し、大きな評価を得ました。昨年12月27日に実施されたインスタレーションは「CANDLE NIGHT」と題され、浅草橋駅近くの神田川沿い、浅草橋と柳橋の間・中央区側の岸におよそ400本のキャンドルを灯すものでした。古くからの船宿も多く残る伝統的な地域である柳橋周辺で、その地域の

魅力を多くの人に知ってもらいたい、というこの催しの実施にあたり、学生達は日本橋の各町会、商店会、神社、日本橋消防署、久松警察署、中央区土木部などと交渉を重ね、倒れても燃え広がらないろうソクのスタンド制作に工夫を凝らし許可を得るなど、地域や役所と協議してプロジェクトを進めるプロセスを体験し、空間を構想して実際に造り上げる方法を学びました。

冬の夜を暖かく照らすキャンドルが川沿いに並ぶ美しい光景は、地元の方々にも高く評価をいただいています。また当日は、中央区長、中央区副区長、日本橋消防署長、葉研掘不動産商店会会長、地域商業団体会長、区議、都議ほか多くの方が、見学に訪れました。

地元の船宿のホームページなどでも、その様子が紹介されています（船宿小松屋さんのHP）

<http://www.yakatabune-konjaku.com/page/new/>

学生たちによる CANDLE NIGHT プロジェクト用 blog

<http://ameblo.jp/tus-andon/>



カリキュラム変更に伴い今年度より「設計製図4」は「第一部門設計及び演習」に吸収されるかたちで選択必修科目となります。昨年度と同様の内容で進められるか、未定の部分もありますが、引き続き、都市空間の見直し、都市再生へのきっかけとなるこうしたデザインワークショップを検討していきたいと考えています。

設計製図科目の流れや担当の非常勤講師の先生方は建築学科ホームページ>カリキュラム>設計製図のページでご覧いただけます。

<http://www.rs.kagu.tus.ac.jp/kougaku1/archi/curriculum3.html>

 <p>せんだいデザインリーグ2008 卒業設計日本一決定戦 OFFICIAL BOOK A4ワイド判・156頁 / 定価 1,800円(税込)</p>	 <p>トウキョウ建築コレクション2008 全国修士設計・論文集 A5判・400頁 / 定価 2,000円(税込)</p>	 <p>Design Review 2008 [学生デザインレビュー2008/ 北九州] 全記録 A5判・208頁 / 定価 1,500円(税込)</p>	<p>建築系学生のための情報サイト</p>  <p>HP リニューアル!</p> <p>「LUCITA(ルフタ)」とは、株式会社建築資料研究社 / 日建学院が企画・管理・運営する建築系学生のための情報サイトです。建築を学ぶ学生たちの卒業設計を始めとした様々な活動やイベント・コンペティション情報等、学生にとって真に必要な情報をリアルに発信しています。</p> <p>「卒業設計作品集」は、「せんだいデザインリーグ」をはじめ、全国の卒業設計展の作品が、約3,600作品、画像14,000点を掲載!!</p> <p>せんだいデザインリーグ(熊本県)   日建学院建築コンペティション(奈良)   Design Review(山口県)</p> <p>日建学院の建築系学生支援サイト <a href="http://www.lucita.jp/">http://www.lucita.jp/</a> ルフタ 検索</p>
<p><b>日建学院コールセンター ☎0120-243-229</b> 受付 / AM10:00~PM5:00(土・日・祝祭日は除きます) 株式会社建築資料研究社 東京都豊島区西池袋1-15-7 株式会社建築資料研究社 日建学院</p>			

## 「運営安定化委員会」の設置！！

委員長 乙丸 勝範（I部 1971年卒）

読者の皆様は、何の為の委員会かな？と思われるかもしれませんがね。

ズバリ築理会の運営・活動を安定的にかつ継続的に続けていくための委員会なのです。

では何をやるの？と思われるでしょう。これもズバリ 資金集めの算段をする委員会なのです。

ご存知の通り、築理会はI・II部工学部建築学科の卒業生をもって構成されています。

その活動経費の大部分を会費の収入で賄っています。会報の広告収入が若干ありますが・・・

ところで、会費の納入状況がどうなっているか皆さんご存知でしょうか？参考までに別表をご覧ください。何と10%にも満たない納入率なのです。さらに終身会員（卒業後30年経過した卒業生のみ加入資格あり）を除けば5%程度の納入率なのです。

築理会は、現役学生との交流を深めるための「りぼん」製作の支援・築理会賞の授与、春秋の会報発行、会員相互の親睦向上等を主な活動としています。去る平成8年12月の幹事会で「これらの活動を安定的に・さらに強力に推し進めるためにも会費納入率の向上を計る必要がある。」との結論に達し、当委員会が設立されました。

会費納入は、強制されるものではなくあくまでもご本人の自由意志によるものですが、この状況をご理解いただきご協力の程よろしくお願ひします。ちなみに年会費は、3500円（たばこ2週間分程度）となっています。

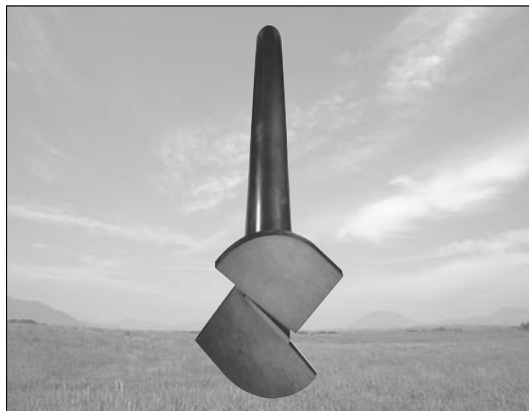
申し遅れましたが、私は、当委員会の委員長を命じられましたI部6期の乙丸勝範と申します。小生にとってはかなり重たい仕事になりますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。

なお、今後次のような活動を予定していますのでご協力の程お願ひします。

1. 会費納入について（お願ひ）・・・・・・  
平成9年春の築理会報の別刷り
2. 終身会員加入の依頼・・・・・・・・・・・・  
1～14期卒業生
3. 主要会社卒業生への依頼・・・・・・・・・・・・

2008/12/31現在

卒業年	会費納入状況											
	I部					II部						
	期	人数	終身	会費/割合	前年/割合	期	人数	会費/割合	前年/割合			
1966	S41	1	79	27	5/40.5	5/40.5						
1967	S42	2	96	14	7/21.9	8/22.9						
1968	S43	3	98	25	2/27.6	6/31.6						
1969	S44	4	86	20	4/27.9	6/30.2						
1970	S45	5	108	24	2/24.1	7/28.7						
1971	S46	6	91	17	6/25.3	4/23.1						
1972	S47	7	88	10	4/15.9	3/14.8						
1973	S48	8	83	5	6/13.3	8/15.7						
1974	S49	9	94	2	5/7.4	9/11.7						
1975	S50	10	87	3	8/12.6	12/17.2						
1976	S51	11	79	5	4/11.4	4/11.4						
1977	S52	12	75	6	3/12.0	6/16.0						
1978	S53	13	77	4	5/11.7	5/11.7						
1979	S54	14	79		12/15.2	10/12.7						
1980	S55	15	69		6/8.7	9/13.0	1	17	2/11.8	2/11.8		
1981	S56	16	70		14/20.0	18/25.7	2	56	2/3.6	3/5.4		
1982	S57	17	107		9/8.4	6/5.6	3	68	4/5.9	4/5.9		
1983	S58	18	81		5/6.2	7/8.6	4	55	3/5.5	4/7.3		
1984	S59	19	86		9/10.5	9/10.5	5	57	0/0.0	2/3.5		
1985	S60	20	71		3/4.2	3/4.2	6	38	0/0.0	0/0.0		
1986	S61	21	72		1/1.4	3/4.2	7	42	3/7.1	1/2.4		
1987	S62	22	81		9/11.1	7/8.6	8	58	5/8.6	3/5.2		
1988	S63	23	83		2/2.4	3/3.6	9	63	1/1.6	2/3.2		
1989	H01	24	99		7/7.1	2/2.0	10	80	3/3.8	4/5.0		
1990	H02	25	94		5/5.3	7/7.4	11	73	0/0.0	0/0.0		
1991	H03	26	98		1/1.0	3/3.1	12	87	3/3.4	1/1.1		
1992	H04	27	92		3/3.3	4/4.3	13	101	2/2.0	3/3.0		
1993	H05	28	117		4/3.4	4/3.4	14	73	0/0.0	0/0.0		
1994	H06	29	105		5/4.8	4/3.8	15	80	2/2.5	3/3.8		
1995	H07	30	80		1/1.3	3/3.8	16	77	2/2.6	2/2.6		
1996	H08	31	102		3/2.9	3/2.9	17	98	4/4.1	3/3.1		
1997	H09	32	118		2/1.7	2/1.7	18	98	0/0.0	2/2.0		
1998	H10	33	96		6/6.3	2/2.1	19	96	1/1.0	1/1.0		
1999	H11	34	113		2/1.8	3/2.7	20	83	0/0.0	0/0.0		
2000	H12	35	86		2/2.3	0/0.0	21	89	3/3.4	3/3.4		
2001	H13	36	89		1/1.1	3/3.4	22	80	2/2.5	1/1.3		
2002	H14	37	88		1/1.1	0/0.0	23	82	1/1.2	1/1.2		
2003	H15	38	112		5/4.5	6/5.4	24	80	3/3.8	5/6.3		
2004	H16	39	118		1/0.8	4/3.4	25	93	3/3.2	2/2.2		
2005	H17	40	100		3/3.0	4/4.0	26	88	4/4.5	4/4.5		
2006	H18	41	120		4/3.3	5/4.2	27	75	2/2.7	5/6.7		
2007	H19	42	97		0/0.0	3/3.1	28	79	1/1.3	0/0.0		
2008	H20	43	81		7/8.6	/0.0	29	79	2/2.5	/0.0		
合計			3945	162	194/9.0	220/9.7		2145	58/2.7	61/2.8		



目に見えない支える技術こそが大切だと考える。

回転貫入鋼管杭ジー・エクス・パイル  
**G-ECS PILE®**

<http://www.sansei-inc.co.jp>

営業品目：建築工事における基礎杭の開発・販売・施工 / 建築工事における各種杭の技術提案  
※ 技術スタッフ募集中

株式会社 三誠  
SANSEI INC.

本社 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20番3号 箱崎公園ビル7階 TEL:03-3639-5226/FAX:03-3639-8162  
北関東営業所 / 茨城営業所 / 新潟営業所  
(昭和48年 工学部建築学科 代表取締役 三輪富成・専務取締役 小川ひろし 他2名)

築理会新年会（第1回）開催される



平成21年1月20日に、神楽坂の理窓会館で第1回新年会が開催された。I部、II部合わせて70名を超える同窓が参加されて、皆さん久しぶりの出会いを

楽しんだ。片淵副会長の開会の辞で始まり、石神会長のあいさつ、森本顧問（前会長）の祝辞と続いた。森本顧問は築理会の活動の意義などを熱く語られた。築理会が発足してから25年、これまで、様々な障害を乗り越えて、先輩から後輩へと築理会活動が引き継がれてきたのは諸先輩の隠れた努力があったからだ、改めて熱いものが心をよぎった。



昭和41年に工学部建築学科から初めて卒業生が世に出てから42年経過した。築理会会員は6100余名に達した。今年も5月23日（土）に築理会総会・講演会・懇親会が開催される。理事長、学長、恩師の教授陣にもご出席いただき盛大に催される予定だ。昨



年も100名を超える同窓が参加して、同窓同士の交流と情報交換を楽しんだ。しかし、同窓全員が一堂に会する機会は「総会・講演会・懇親会」の年に1回だ。もっ



と気楽に同窓の交流が持てる機会を持ちたいという声が出て、第1回新年会が開催された。この新年会は築理会の同窓が主役だ。歓談タイムには会場のいたるところ

で同窓同士の歓談する姿が見受けられた。希望する同窓には近況、自己紹介タイムを設けた。司会はおなじみ椿康子（5期）乙丸勝範（6期）の新コンビだ。明るい雰囲気でも会場を盛り上げる。次々に登場して近況や自己紹介をして皆さん楽しそうだった。

新年会は初めてで不案内なところがあって不安もあったが、来年も是非新年会を開催してほしいという声が多く聞かれた。1期から35期の若い方まで多数参加していただいた。若手の同窓、特に女性が目立っていた。同窓とは不思議なもので初対面の間柄であっても母校を介して百年の知己なることも珍しいことではありません。来年の新年会でもまたお会いしましょう！



（I部5期石神一郎）



平成20年度  
**1級建築士**  
設計製図試験

**合格者占有率**  
No.1

全国  
**合格者占有率**  
57.7%

全国の合格者の半数以上は、当学院の平成20年度受講生でした。

全国合格者4,144名中  
当学院合格者2,391名

※総合資格学院の合格実績には、最終試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者は一切含まれておりません

確かな実績に基づく指導ノウハウで合格に導きます

**建築士・宅建**

**WEB SITE RENEWAL OPEN!**

いますく! ウェブ検索

総合資格 | 検索 [www.shikaku.co.jp](http://www.shikaku.co.jp)

**総合資格学院**

お問合せ・資料請求先 **0120-193-750**

東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル22階

## 2009年の住宅業界を襲う「3大法規」の大波

安達 功（1部1986年卒）

2009年の住宅業界は大変である。市場の冷え込みもさることながら、4月1日に施行された「改正省エネ法」を皮切りに、6月4日には「長期優良住宅普及促進法」が、10月には「住宅瑕疵担保履行法」が施行され、これらに対応しなければならない。

筆者は普段、住宅会社の技術者や、住宅を主戦場とする設計者取材しているが、多くの人が矢継ぎ早に打ち出される制度変化を把握しきれない状況である。われわれも、まるでモグラ叩きのようにフウフウ言いながら取材に追われている。そもそも、法をつくっている国土交通省などの担当者でさえ、自分の担当分の制度設計を進めるのに精一杯で、なかなか俯瞰的な視点を持ってないのが実情だ。

私が所属する日経ホームビルダーという雑誌で「住宅業界3大法規対応セミナー」というものを企画したら、瞬く間に定員を超える申し込みがあった。皆、ワラにもすがりたい状況なのである。

法律の背景にはそれぞれの目的がある。住宅瑕疵担保履行法は「姉歯事件を受けた消費者保護」、省エネ法は「京都議定書で設定されたCO2削減目標の達成」、長期優良住宅普及促進法は「住宅の寿命を延ばす200年住宅への取り組みの推進」といった具合だ。そして、これらの制度は互いに関連している部分もあるからややこしい。例えば長期優良住宅普及促進法に基づく長期優良住宅の認定は、改正された省エネ法の「次世代省エネ基準」をクリアすることが条件となる。以下、三つの法律の住宅に関連する部分について概要と影響を簡単にまとめてみた。多少なりとも参考になれば幸いである。

### <改正省エネ法の概要と影響>

- ①エネルギー消費が伸びている住宅の省エネ対策強化を目的に、家電製品などで導入されている「トップランナー方式」を、150戸以上の建売住宅を供給する住宅会社にも適用する。
- ②そのための評価手法として住宅の一次エネルギー消費量を算定して、その建物の省エネルギー性能を評価する仕組みを取り入れた。
- ③エネルギー消費量を算定する際には、建物の断熱性能と設備を一体で評価する。
- ④断熱区分は細分化され、住宅性能表示の等級4を大幅に超える性能や、等級3と4の中間の性能も評価できるようになった。
- ⑤一方で省エネ規定を簡素化。次世代省エネ基準をクリアするための現場施工が容易になった。
- ⑥長期優良住宅の認定の際に次世代省エネ基準のクリアが条件になった。

### <長期優良住宅普及促進法の概要と影響>

- ①この法は長期優良住宅の基本方針を定め、認定基準に基づき「長期優良住宅」を認定する。
- ②認定は「耐久性」「耐震性」「設備の可変性」などのハード面の条件と、「環境に配慮している」「きちんと維持管理し

## 平成21年会費納入のお願い

現在、平成21年度の会費の納入をお願いしております。同封の振込用紙にて、お振り込み下さい。

今後のさらなる築理会発展のため、多くの方のご協力をお願いします。

年会費 3,500円

加入者名 築理会

口座番号 郵便局 00110-5-171952

ている」というソフト面の条件に適合した住宅に与えられる。

- ③ハードルとしては「耐震等級の等級2」「省エネルギー対策等級の等級4」が難しい。
- ④認定住宅には住宅履歴情報の作成とすることが義務付けられ、工務店や住宅会社は電子化された情報を管理する必要が生じる。
- ⑤認定住宅には、住宅ローン減税、投資減税、固定資産税などの税制優遇があるほか、認定住宅に対する補助金も検討されている。

### <住宅瑕疵担保履行法の概要と影響>

- ①この法律によって、2009年10月1日以降の新築住宅の引き渡しには、瑕疵保険への加入、または供託が義務付けられる。
- ②保険がカバーする範囲は「構造耐力上主要な部分と雨水の浸入を防止する部分」で、原則として地盤は保険の対象外、施工不良や不具合のすべてをカバーするわけでもない。
- ③瑕疵保険に入るためには建築基準法以外に、各保険法人が定める設計施工基準を守る必要がある。
- ④設計施工基準を守っているかどうかを保険法人が判断するために、確認図書に基礎の状況がわかる資料、2階の状況がわかる資料、防水措置の状況がわかる資料などを書き込まなければならない。
- ⑤保険証の発行を受けるためには、基礎配筋工事の完了時と屋根工事が躯体工事の完了時の2回の現場検査を受ける。

### 「編集後記」

学生が固唾を呑んで見守るなかで行われた築理会賞の公開審査は、まさに見ごたえ十分でした。築理会にとっても、大学とOBを結ぶ大きな架け橋となる試みではないでしょうか。そこに至るまでの準備は大変だったことと思います。新しい教育プログラムの一環として、意欲的な取り組みをされている先生方に改めて感謝！です。

(安達功 adachi@nikkeibp.co.jp)

築理会報 2009 春号

2009年04月発行 Vol.43

発行所 : 東京都新宿区神楽坂1-3

東京理科大学工学部I・II部建築学科  
築理会事務局 03-3260-4271 (内6674)  
03-5213-0976 (FAX)

編集長 : 安達 功

編集委員 : 石神一郎、大岩昭之、藤森正純、広谷純弘、森清、伊藤学、渋川克也、山名善之、平賀一浩、菊地宏、東有紀、大槻尚美

印刷発送 : グローバルシステム株式会社